

授業科目名 ( 英文名 )	経営学特講 ( 現代企業を学ぶ ) ( 経営学部・専門科目 ) ( Studies in Modern Corporations )	科目区分 対象学生	
単位数	2.0	開講年次・ 学期	
担当教員	友野 哲彦 J A 兵庫信連	所属	
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>J A 兵庫信連の方々を講師とし、日本の経済、農業、地域 ( 地方 ) の進むべき方向性について講義する。</p> <p>受講生は、日本の農業の現状を理解したうえで、農業金融等、今後の地域創生のために地域金融機関が果たすべき役割について理解することが到達目標である。</p>		
講義内容・授業計画	<p><b>講義内容</b> J A 兵庫信連の講師陣によるリレー講義を通して、地域金融の果たす役割について講義する。</p> <p><b>授業計画</b> 第1回 J A グループの仕組みと協同組合 ( 協同組合の沿革および各事業 [ 信用、共済、営農・経済 ] の概要 ) 第2回 J A の信用事業と県内金融機関の概況 ( 主要4業務の概説・業態別の特徴とシェア他 ) 第3回 J A 兵庫信連の概要 ( 組織・機構、設立から今日まで・業務内容の解説 ) 第4回 J A バンク兵庫の事業戦略 ( 中長期経営戦略 [ H30-34 ] を中心に ) 第5回 若手営業・推進職員の日 ( 融資担当、J A 推進担当の体験談 ) 第6回 J A バンク兵庫の広報活動 ( ワーク：認知度を向上するには？ ) 第7回 地域創生と J A バンク兵庫の地域貢献活動 ( 「環境チャレンジ大会」などの地域貢献活動の紹介 ) 第8回 知って得する金融法律知識・金融サービス ( 諸契約、相続貯金、マネロン関係、ペイオフ、利益相反、質・担保、保証、金融サービス他 ) 第9回 人材育成 ( 人事制度と人材育成戦略：未来塾、留学精度 ) 第10回 経済情勢と有価証券の基礎知識 ( 経済・相場の見方、有価証券の運用方法 ワーク：相場を予測し、運用を検討 ) 第11回 農業支援の取組み ( 農業の現状と課題 ) 第12回 アメリカの情勢報告 ( フィンテックの概要やアメリカの金融情勢 ) 第13回 J A ・金融機関を巡る環境変化 ( 農協改革への取組み、少子・高齢化、地域格差、他金融機関の動向 ) 第14回 J A バンク兵庫が目指す姿 ( 県内ナンバーワン金融機関を目指して ) 第15回 理解度確認 ( 地域金融に求めること、その対応策の提言 ) ワークでは、学生が主体的に学ぶため、講義中に簡単な作業をしてもらいます ( ) 開講日：第1, 2回は4/10. 以後、2コマずつ隔週。最終日は3限のみ。</p>		
テキスト	特に指定しない。		
参考文献	<p>大泉一貫 ( 2014 ) 『農協の未来』勁草書房. 田代洋一編 ( 2009 ) 『協同組合としての農協』筑波書房. 松田学 ( 2012 ) 『TPP 興国論』ロング新書. 中野剛志 ( 2011 ) 『TPP 亡国論』集英社新書.</p>		
成績評価の基準・方法	<p>毎回、講義時間中にレポートを課し、最終回 ( 第15回 ) に到達度の確認を行う。</p> <p>評価は、レポート ( 50% )、最終到達度の確認 ( 50% ) を総合して行う。</p> <p>到達目標に示されている能力の修得度を、規程にある「評価の基準」に従って、S(A+), A,B,Cで成績をつける。</p>		
履修上の注意・履修要件	<p><b>【重要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受講希望者が多い場合には、受講生の数を制限することがある。選考ルールは学生用掲示板に掲示する。掲示の確認不足によって生じた不利益には対応しないので、くれぐれも注意すること。</li> <li>・出席回数が講義回数の2 / 3程度以上の受講者を評価の対象とする。</li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"><li>・単位取得のためには、最終回（第15回）の到達度確認を必須とする。</li><li>・講義終了後は配付物を見直し復習するとともに、次回の講義内容につきシラバスを参照し、ウェブ等で自分なりに予習を進めておくこと。</li></ul>
実践的教育	JA兵庫信連の方がたを講師陣とし、地域金融に関する実務経験を通して学んだ知識を受講生に伝授する。
備考	受講生の数を制限することがあるので、掲示に留意すること。